

とるべきポジションの声明

遠隔医療は、作業療法のサービスを提供する上で、対面でのサービスが不可能、実用的でない、または最適でない場合、遠隔医療を介したサービス提供がクライアントとサービス提供者の間で相互に受け入れられる場合に、適切で効果的な提供モデルである。また、遠隔医療は、作業療法サービスの一部を対面で提供し、一部を遠隔で提供する混合サービス提供モデルの一部とすることもできる。

遠隔医療とは、情報通信技術を利用して、提供者とクライアントが物理的に異なる場所にいる場合に、健康関連のサービスを提供することである。遠隔医療で提供されるサービスは、クライアントとの同期的（リアルタイムでの）やり取り（ビデオカンファレンス、電話、リモートモニタリング、アプリやゲーム）の場合もあるし、同期的ではない（ビデオ、写真、メールなどのデータを介して保存されたものを見る）場合もある。

遠隔医療は、作業療法の実践を管理する管轄、組織、専門職の規則や方針で認められているように、評価、査定、介入、監視、監督、および（遠隔地のセラピスト、クライアント、地域の医療従事者の間での）相談のために、作業療法で使用することができる。

作業療法にとってのポジションや問題の重要性についての声明

世界保健機関（WHO）のリハビリテーション 2030 の行動喚起によれば、「世界的に見てリハビリテーションのニーズは非常に高く増加し続けている」¹ 作業療法は、意味のある作業に結びつく人々の能力を高め、生活の質と幸福を向上し、WHO の持続可能な開発目標（SDG）3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」¹ において基本的役割を果たす。遠隔医療は、自宅、学校、職場、コミュニティにいる人々のために、効果的な作業療法サービスへのアクセスを改善する。さらに、遠隔医療は離れた場所にいる専門家の知識と技能を、相談や指導といった関係を通じて地方の医療従事者に伝えることを促進するかもしれない。遠隔医療を通して提供される作業療法サービスは、個人、集団、住民全体にとって適切でなければならないし、クライアントの作業と利益に応じたものでなければならない。作業療法士による遠隔医療の利用は、世界作業療法士連盟の倫理綱領²に沿ったものでなければならない。

社会にとってのポジションの重要性についての声明

遠隔医療は、対面で会うことが不可能であったり、現実的ではないときに、情報通信技術を通して人々と作業療法士をつなぎ、サービスが届きにくい人々のアクセスを改善する。遠隔医療は、地方の教育格差を改善したり、作業療法士不足を解消したりすることに役立つ。

遠隔医療の有効性は、世界保健機関による 2011 年の文書に記されている。たとえば、障害のワールドレポート³で、WHO と世界銀行が共同で、リハビリテーションサービスの遠隔医療（テレリハビリテーション）が対面でのサービス提供と同等の効果があると述べている。遠隔医療の技術は、医療従事者のリモートでの研修やサポートや、「災害後の余波のような重要な時期と同様に、国際的にも専門的技能の共有」（p.119）も促進する。

結論

遠隔医療は作業療法のための適切なサービスモデルとなりうる。そして作業療法サービスへのアクセスを改善する。遠隔医療を通して提供されるサービスは、対面でのサービス提供での標準的ケアと同レベルでなければならないし、作業療法実践についての管轄部署、組織、専門団体の規則や方針に沿っていなければならない。

References

1. World Health Organization. (2017). Rehabilitation 2030: A call to action. Concept note. <https://www.who.int/disabilities/care/ConceptNote.pdf?ua=1&ua=1>
2. World Federation of Occupational Therapists. (2016). Code of Ethics. <https://www.wfot.org/resources/code-of-ethics>
3. World Health Organization & World Bank. (2011). World report on disability. http://whqlibdoc.who.int/publications/2011/9789240685215_eng.pdf

Contributors

Jana Cason (United States of America)

Tammy Richmond (United States of America)

Cynthia Abbott-Gaffney (United States of America)

Karen Jacobs (United States of America)

Liat Gafni-Lachter (Israel)

Contributors (2014 version)

Jana Cason (United States of America)

Karen Jacobs (United States of America)

Susan Coppola (United States of America)

Tammy Richmond (United States of America)

Mimi Ludwig (United States of America)